

三年生 国語 学習プリント

三年 組 名前

はじめ



漢字

- 『漢字1 熟語の読み方』
- 『漢字2 漢字の造語力』
- 『漢字3 漢字のまとめ』

- 教科書 P 41
- 教科書 P 129
- 教科書 P 207

教科書には、漢字について学習するページが三か所あります。
このワークシートでは、その部分を順に学習します。

漢字1 熟語の読み方

漢字には、音おんと訓おんがあり、熟語は、音と訓をさまざまに組み合わせ
読みます。特に、熟語の上下の漢字を音と訓を組み合わせて読む場合は、
「重箱読み」と言います。上の漢字を訓、下の漢字を音で読む場合は、
「湯桶読み」と言います。

【重箱読み】 毎朝まいあさ 毎まい（まい） ↓音読み

朝あさ（あさ） ↓訓読み

【湯桶読み】 荷物にもつ 荷に（に） ↓音読み

物もつ（もつ） ↓訓読み

1 次の箱の中に、重箱読み、湯桶読みの熟語を三つずつ書きましょう。

重箱読み

湯桶読み

※熟語の中には、漢字一字ごとに音や訓で読むのではなく、一つのまとまりとして特別な読み方をする次のような熟語が入ります。この特別な読み方を熟字訓とよびます。

明日（あす） 今年（ことし） 風邪（かぜ） 上手（じょうず）
 七夕（たなばた） 果物（くだもの） 時計（とけい） 土産（みやげ）

2 次の熟語の読み仮名を平仮名で書き、重箱読みか、湯桶読みかを答えましょう。

熟語	読み仮名	読み方	熟語	読み仮名	読み方
素顔			湯気		
合図			店番		
手本			仕事		
味方			客間		
役場			新芽		

漢字2 漢字の造語力

幕末から明治時代にかけて、西洋からさまざまな書物が日本に入ってきました。その折に、日本にはない事柄や考え方を表す言葉も多く、当時の学者は、それらの書物を翻訳するために、新しい日本語を考え出しました。（翻訳語）

例

この言葉は、当初「仲間」とか「交際」などと訳されていました。



society

その後、人々の集まりという意味を表す「社」と「会」を組み合わせて「社会」という熟語が新たに考え出され、今では定着しています。